

航空機災害を想定し

五町一村で合同訓練

3月5日の日曜日、横芝海のこともの国駐車場を会場に“航空機災害”を想定した合同訓練が行われました。

この訓練は、成田空港周辺の飛行機の航路直下にあたる山武郡内五町一村が合同で行なったもので、各町村の消防団員を中心に山武郡市消防組合や八日市場外三町消防組合職員、医療機関や空港公団職員など約300名が参加。消防ポンプ車、化学車、救助工作車、



担架で負傷者を救護所へ

小型医療車など車両23台を使って実践さながらの訓練を行いました。

訓練は、『着陸体制のB747型機にトラブルが発生、緊急着陸したが機体が炎上し負傷者多数』という想定で始まりました。救急車のサイレンが鳴り響き、緊張感が高まる中、現場に設置された仮救護所には「けが」の程度を表したカードを掲げた仮患者者が次々と担架で運び込まれ、任務にあたったみなさんは、重傷者から軽傷者までてきばきと応急処置、そして病院へと搬送して行きました。また、炎上した機体を想定しての消火活動には、化学車などによる泡消火が行われ、来賓や見学者のみなさんも真剣なまなざしでその作業を見守っていました。

成田空港は、年間十三万便、一日三百七十便が離着陸しており、横芝町の上空は一日百八十五便が飛び交っています。今後、平行暫定滑走路が完成する二〇〇二年には、年間二〇万便、一日の離着陸数は、五百四十六便になる予定だそうです。

訓練終了後、實川町長は「航空機災害はあってはならないが、万が一に備えた訓練ができ心強く感じました。みなさん大変ご苦労様でした」と講評を行っていました。

八日市場市外三町消防組合管内 小中学生防火ポスター作品展入賞者

八日市場市外三町消防組合では、春の全国火災予防運動の一環として、毎年、管内の小中学校から防火ポスターを募集しています。23回目となった今回は、管内の24の小・中学校から4,351点の応募があり、厳正なる審査の結果、当町からは次のみなさんが入賞しました。

—敬称略—

〔小学生の部〕

最優秀賞	石川 美穂	(横芝小3年)
消防組合長賞	鈴木 恵里	(横芝小4年)
消防組合長賞	早川知恵美	(横芝小6年)
危険物安全協会長賞	西谷みゆき	(大総小5年)
危険物安全協会長賞	鈴木 直人	(横芝小1年)
危険物安全協会長賞	平山 温子	(上堺小6年)

〔中学生の部〕

危険物安全協会長賞	郡山 勇	(横芝中2年)
金賞	田村 和子	(横芝中2年)

※ 同消防組合管内では、防火ポスターの応募を始めた昭和53年当時には、火災原因の約10パーセント占めていた『子どもの火遊び』による火災が、現在は半減し5パーセント以下になりました。

212 (北清水) に

最新鋭のポンプ自動車

3月9日、横芝町消防団第2分団第2部(北清水)に、最新鋭のポンプ自動車が配属されました。

町では、古くなった消防車両を新しくすることにより、火災などの被害を最小限に防ごうと、毎年、計画的に消防車両の整備を行っており、今年度は、17年間が経過した第2分団第2部のポンプ自動車を1,260万円で更新しました。

来年度は、東町のポンプ自動車が更新される予定です。



新たに配属されたCD-1型ポンプ自動車